

会員のみなさま、ご清祥にお過ごしのことと拝察申し上げます。

さて、緑の環境クラブは、今年の4月で、設立20周年となります。当初、私たちも張り切って、里山の整備だけでなく、自然環境になるべく負荷を与えないようにする生活を目指して、コンポストやEM菌などを使用し、生ごみを有効利用する実践をしたり、洗剤を使わずに炭や酢を使って洗濯をすることを試みたり、一方野外活動では、小柿のキャンプ場に泊まり、農家の方に使用料を払って、休耕田を借り、そこで、竹林から間伐した竹を伏せ焼にしたり、青竹を使ってバームクーヘンを焼いたり等々、様々な試行錯誤をしました。そのうちに、活動は徐々に収斂されてゆき、現在のように里山管理と里山体験学習支援を中心に、キノコの観察会、シイタケの菌打ち、電気ペン工作という楽しいイベントを混ぜての活動となりました。近年では里山の恵みを循環しようという試みの一つに、伐採した枯れ松10本分を丹波焼、木器窯(こうづきがま)の田中さんの登り窯に利用してもらったことがあります。3日間焼き続ける登り窯では、残念ながら枯れ松では油分が少なく、窯入れして1日半しかもたないの、その後は、上質の赤松を使って残りの1日半を焼き続けたとのことでした。しかし田中さんの工房にある大きな暖炉で、残りの松を燃やし、冬の間、暖かく過ごすことが出来たのはとても有難かった、とねぎらいの言葉を戴きました。近年、里山の家というキャッチフレーズで暖炉のついた家を販売する会社がありますが、近隣と煙のトラブルが起こっていると聞きます。せっかく環境負荷の少ない薪という燃料も、住宅街の中では微妙な存在となってしまいます。しかし、広い空間のある田舎の住宅や丹波焼の里のような焼き物の町ならば、里山の資源は大いに活用されるのではないのでしょうか？ガスや電気は便利ですが、一方で、環境への負荷や経済的負担という面も併せ持っています。里山が豊富にある三田の恵みを生かす為にも、限定された区域に循環型の恒久的なシステムが構築されることを切望する20年目の春であります。

代表世話人 北田香菜子

平成28年度下期の活動報告

★里山ふれあい森づくり作業 作業日数 35日 作業延人数 354名 (10/1 ~ 3/31)
三田市立有馬富士森林公園内Dゾーン(9.9ヘクタール)の里山放置林において保全・整備を実施(企業参加 尼崎信用金庫)。林野庁に申請した「森林山村多面的機能発揮交付金事業」の対象区域で、第3年目(最終年)の活動を5月から続け、今年の2月28日に終了しました。作業完了エリアは、1.01haになりました。毎週水・土曜日を基本的に活動日としています。



平成29年1月11日の作業日



作業前のササヤブ



作業後

★北田代表 TV「日曜さわやかトーク」に出演
2月19日(日)兵庫県提供のサンテレビ「日曜さわやかトーク」に出演。番組で井戸知事や「六甲山の自然を学ぼう会」の清水理事長と両クラブの里山・森林保全活動や子供たちへの環境学習について語り合いました。



六甲山の特徴を教えてください

★イベントの開催

①10月16日(土) 秋のありまふじフェスティバル
電気ペンでお絵かき&ペンダント作り (参加者105名:スタッフ12名)



②10月29日(土) フラワータウン市民センターまつり
バザーと電気ペン(電気ペン参加者41名:スタッフ11名)



③2月18日(土) シイタケ菌付け体験会
(参加者24名:スタッフ12名)



④11月12日(土) 「おやまの手入れをやってみよう」
(里山作業参加者22名:スタッフ6名)



⑤10月16日(日) 尼崎信用金庫植樹祭 (スタッフ6名参加)



緑の随筆 「兵庫方式と森林公園」

私たち緑の環境クラブは、三田市立有馬富士森林公園をフィールドに里山放置林の整備活動を続けています。その基本となるのが「兵庫方式」といわれる「種多様性の高い夏緑高林」を目標像とする兵庫県の管理手法です。コナラ、アベマキなどの夏緑高林(落葉広葉樹)を保全し、ネザサやつる類を刈り、カシやソゴ、ヒサカキなどの常緑樹を伐採して明るい林床を形成し多様な植生を復元していくのです。

でもフィールドは森林公園内です。有馬富士への登山者や緑の景観を楽しむ親子連れなど、多くの人たちが訪れます。春にはフジの花を楽しみ、秋には大きく実ったアケビを見たい人がいます。また野鳥を愛する人たちは、野鳥の生態を乱さないでといい、チョウの愛好家は「食草」や「食樹」を伐らないでと訴えます。その通りです。

私たちは、ここ数年、有馬富士森林公園での里山保全活動は、「兵庫方式」を参考にしつつも、できるだけバランスのとれた整備を心がけています。常緑樹でもある程度は残して、公園らしい景観を保ちつつ、日当たりと通風がよくなるように進めています。野鳥のえさとなる木も残します。「常緑樹だからといって何でも伐らないでちょうだい」。これが北田代表の口癖でもあります。

副代表 鷲森孝信

★里山体験学習支援

①9月24日(土) 北摂里山大学支援(スタッフ5名)



②11月22日(火) 松が丘小学校の里山体験学習支援 (スタッフ7名)
(事前に11月4日(金)里山についての話と校区の里山の様子見学)



★新規クラブ員紹介 安全に留意して、皆で大いに楽しみましょう!

11月 森本 幸作さん(南が丘) 11月 三輪 郷太郎さん(弥生が丘) 2月 山村 三朗さん(けやき台)

平成29年度上期の活動予定

- 4月以降 里山保全活動 :有馬富士森林公園及び周辺エリアでの森林整備等 毎週水・土曜日に活動 7・8月は、活動休止
4月未定 里山整備活動体験会
4月19日 緑の環境クラブ 第20回定例総会
4月26日 春を食する会
4月29日 春のありまふじフェスティバル 電気ペンの出店
6月 8日 兵庫県学校農業クラブリーダー講習会支援
7月22日 きのご観察会:20周年事業